

岡山市北消防署が完成しました。



外観



屋内訓練室



車庫

CONCEPT

訓練室を内包した消防署

岡山市北消防署は、近年都市化が急速に発展している岡山市中心部において、多様化する各種災害に迅速かつ確に対応が可能で、機能的・機動性を兼ね備えた総合防災拠点として整備されました。

大規模地震発生時においても災害対応が円滑に行えるよう、免震構造の採用で耐震性を確保するとともに、24時間いつでも燃料補給が可能な自家給油設備を併設しています。

屋内訓練室は、3層にわたる吹抜け空間に様々な訓練設備を組み合わせて計画し、天候に左右されない訓練が可能です。

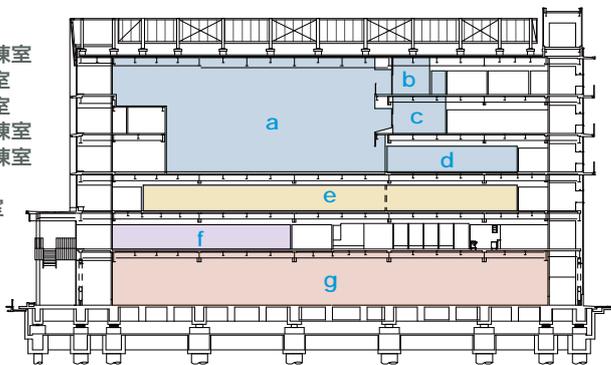
研修室での各種研修や訓練の見学による防火・防災への啓発を通じて、消防行政への関心・理解を深めることにより、オープンで親しまれる消防署となることを目指しています。



自家給油施設・車庫倉庫棟

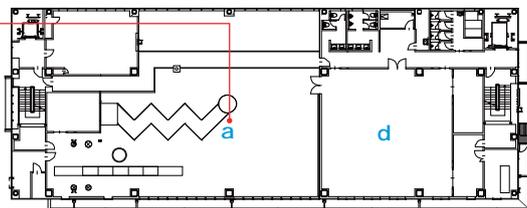
SITE/PLAN/SECTION

- a. 屋内訓練室
兼音楽隊訓練室
- b. 屋内侵入個室
- c. 偽装住宅個室
- d. 救急処置訓練室
兼音楽隊訓練室
- e. 防災研修室
・防災協議室
- f. 事務室
- g. 車庫



SECTION S=1:800

- 屋内訓練室
- ・ロープブリッジ救出訓練
- ・引揚救助訓練
- ・マンホール訓練
- ・立坑訓練
- ・機坑訓練
- ・屋内侵入訓練
- ・検索訓練
- ポルダリングも可能



- 東側外壁面
- ・ヘリ降下訓練
- ・応用登はん訓練
- ・梯子登はん訓練

4F PLAN S=1:800

SITE S=1:2,000

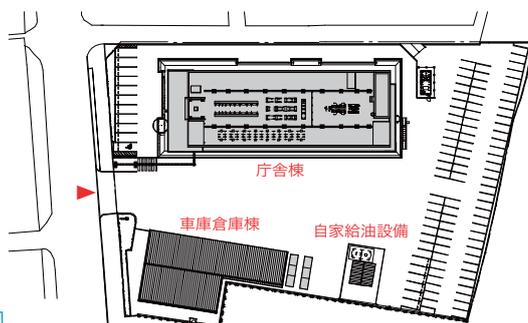


写真: KM.CREATION

DATA

敷地面積	7,198.12㎡
建築面積	1,759.70㎡
延床面積	7,013.50㎡
建ぺい率	24.40% (許容80%)
容積率	33.20% (許容400%)
構造・規模	S造 (基礎免震) 地上6階、塔屋1階
最高高さ	31.65m
軒高	26.55m
天井高さ	2.70m
主なスパン	10.0m×12.9m
設計期間	2013.08~2014.09
工事期間	2015.01~2016.03

TOPICS

災害対策

免震構造、自家発電設備の他、災害対策として、約0.5mの地盤面かさ上げ、マンホールトイレの設置（車庫倉庫棟）をしています。また、仮眠室は他所消防からの支援受入れを想定し、襖を開放することで大広間のように利用することが可能です。



消防仮眠室

▶ <http://www.nissoken.co.jp>